

**3D 関連団体が共同して映像酔いのない
安全で魅力的な VR コンテンツを普及させるためのコンソーシアムを設立
～VR コンテンツ制作安全ガイドライン策定へ向けて～**

3D コンソーシアム、3DBiz 研究会、立体映像産業推進協議会は、映像酔いのない安全で魅力的な VR (バーチャルリアリティ) コンテンツを普及させるための「StageVR コンソーシアム」を 12 月に設立します。他の 3D 関連団体、VR 関連団体にも参加を呼びかけていきます。

StageVR とは、コンサートや舞台などステージ上のパフォーマンスを実写 3D で撮影し、必要に応じて 3DCG と組み合わせて制作するもので、鑑賞者の位置を固定して現実には起こりうる視点移動だけに制限することにより、映像と身体感覚のずれをなくし、頭痛や吐き気などを生じさせない安全な VR コンテンツを実現できます。

広く普及し始めた 360 度実写 VR は、映像のつなぎ合わせ、注目する部分の映像の解像度の低さなど課題がありますが、StageVR は、前方のステージ部分だけにリソースを集中させるので、効率的で高解像度の実写 VR を実現できます。

また、4K、8K 高解像度映像とハイレゾ VR 音響を組み合わせることにより、その場に居るような高臨場感の没入型コンテンツが可能になるため、今後普及が予想されるライブ配信 VR や、スポーツ観戦 VR などへの応用が期待されています。

3D コンソーシアムは、安全な 3D コンテンツを制作するためのガイドラインを提供するなど、十年以上にわたって 3D 普及のための活動をしてきており、各団体においても 3D 撮影の実証テスト、3D 表示技術の研究発表など、多くの専門家が参加してきました。

今回、共同して StageVR コンソーシアムを立ち上げ、ハリウッド 3D 映画の制作ノウハウの提供、新技術による実証実験などを通じて、安全な VR コンテンツを制作するためのガイドラインを策定し、VR がビジネスとして発展するための仕組みづくりを進めていきます。

StageVR コンソーシアムの詳しい内容は、StageVR コンテンツのデモ、StageVR 撮影用カメラの展示とともに、12 月 7 日～9 日にパシフィコ横浜で開催されるビジュアルメディア Expo (主催：アドコム・メディア株式会社) の 4K&VR ゾーンにて紹介されます。

<本件に関するお問い合わせ先>

3D コンソーシアム 担当 泉 邦昭

電話：070-1573-1230

Eメール：izumi@3dc.gr.jp

<関連 URL>

3D コンソーシアム <http://www.3dc.gr.jp/>

3DBiz 研究会 <http://www.3dbiz.jp/>

立体映像産業推進協議会 <http://rittaikyo.jp/>

ビジュアルメディア Expo2016 <https://www.adcom-media.co.jp/info-vme/2016/11/15/24412/>